

学校における自己評価・学校関係者評価の結果

自己評価の結果(保護者)

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
本校は、国際性・多様性に富む特色ある学校である。	小学校	70.3%	25.5%	3.1%	0.5%	0.5%
	中学校	61.3%	30.6%	6.5%	0.0%	1.6%
本校は、学校の特色を生かした教育活動や行事を行っている。	小学校	76.6%	20.3%	2.6%	0.5%	0.0%
	中学校	50.0%	38.7%	9.7%	0.0%	1.6%
本校は、児童の英語力の向上に努めている。	小学校	58.9%	30.7%	6.8%	2.1%	1.6%
	中学校	43.5%	38.7%	11.3%	3.2%	3.2%
本校は、国際理解教育(国際交流、国際理解、異文化理解など)の充実に努めている。	小学校	64.1%	30.2%	4.2%	1.0%	0.5%
	中学校	48.4%	35.5%	12.9%	0.0%	3.2%

学校関係者評価の結果(学校関係者)

- ・個に応じた学習指導について、教員が苦慮されていると思うが、テクノロジーやデジタルをさらに活かした対応をしていっていただきたい。
- ・ラウンドスクウェアを通した活動について、全容がまだよく見えていない部分もある。今後の活動計画について示して欲しい、また保護者へのPRもしっかり行うべきである。
- ・ラウンドスクウェアを通した活動については、生徒向け、あるいは保護者向けの報告会等を実施して欲しい。そのことにより、参加者の体験がより整理され、他の生徒とも、参加した生徒から学び、次は自分も参加したいと思うようになるだろう。
- ・英語イマージョン教育の効果を強く感じている。9年生(中学3年生)43名中14人が英語検定試験準1級、28名が2級に合格している(4月段階)。準1級は文部科学省が中高の英語教師に求める英語力である。英語専攻の大学生でも必死になって勉強しないと合格しない。日本の伝統的な英語教育の世界からは想像できない高い英語力を獲得している。素晴らしいと思う。